

支援・サービスの実績

資料No3

<居宅介護等>

平均延利用時間/月、 実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	延利用時間/月	1,654	1,753	1,858	1,334	1,334	1,334
	実利用人数/年	153	154	155	153	153	153
実績	延利用時間/月	1,260	1,037	869			
	実利用人数/年	105	109	136			
達成率	延利用時間/月	76%	59%	47%	0%	0%	0%
	実利用人数/年	69%	71%	88%	0%	0%	0%

居宅介護等の実利用者は年々増加している傾向がうかがえる。例年であれば、居宅介護サービスの不足が懸念されるところであるが、令和2年度においては、コロナ禍の影響により利用控え等の影響があったと思われ、サービス利用の推移や傾向が捉えにくい。同行援護や、重度訪問介護の利用の減少が顕著であるのは、外出控えの影響があると推測される。

(内訳)

月あたり時間(人)	居宅介護	911(85)	840(88)	714(73)		
	重度訪問	174(1)	21(1)	7(1)		
	行動援護	112(12)	106(12)	105(1)		
	同行援護	63(7)	70(8)	41(1)		

※湖南市の居宅介護事業所…れがーと、落穂寮、湖南市社協ホームヘルプセンター、アザレア、八起会ホームヘルプステーション、美松苑ヘルパーステーション、ぼだいじヘルパーステーション、ワークステーション虹、

※湖南市の行動援護事業所…れがーと、落穂寮 れがーとは令和3年度より休止中。

※湖南市の同行援護事業所…、湖南市社協、アザレア、八起会ホームヘルプステーション

※湖南市の重度訪問介護事業所…れがーと、落穂寮、湖南市社協ホームヘルプセンター、アザレア、八起会ホームヘルプステーション、美松苑ヘルパーステーション

支援・サービスの実績

資料No3

＜生活介護＞ 平均延利用日数/年、実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	延利用日数/月	1,970	2,049	2,131	2,087	2,141	2,195
	実利用人数/月	115	118	121	115	118	121
実績	延利用日数/月	1,904	1,940	2,069			
	実利用人数/年	99	104	118			
達成率	延利用日数/月	97%	95%	97%	0%	0%	0%
	実利用人数/年	86%	88%	98%	0%	0%	0%

障がいの重度化や高齢化に伴い、生活介護の利用ニーズも高まっている。また、特別支援学校新卒者の進路保障のためにも、定員増または新規事業者の参入が望まれる。

令和元年度に圏域内に開設された重症心身障がい者を対象とする生活介護事業所も、順調に利用されている。

※圏域の生活介護事業所(通所)…るりこう園、やまなみ工房、第2さわらび、ワークセンター紫香楽、バンバン、さつき、落穂寮、十二坊デイサービスセンター(共生型)、ここねっとふれあい農園、ごまめ(R3. 9～)

※その他利用のある生活介護事業所(通所)…重症心身障害者通所施設 さんさん

※圏域の生活介護事業所(入所)…るりこう園、信楽青年寮、落穂寮、もみじ、あざみ、一麦

＜療養介護＞ 実人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	実利用人数/年	10	10	10	10	10	10
実績	実利用人数/年	9	10	9			
達成率	実利用人数/年	90%	100%	90%	0%	0%	0%

児童福祉法の対象であった重症心身障害児施設に入所中の18歳以上の者が、H24から療養介護の対象となった。

県内でも利用希望者が多いことから、新規の入所利用は困難な状況にある。

びわこ学園への入所については、県により入所調整会議が行われている。

※利用中の療養介護事業所…びわこ学園医療福祉センター草津・野洲、医療福祉センターきずな(兵庫県)、紫香楽病院

支援・サービスの実績

資料No3

<就労継続支援事業A型>

平均延利用日数/月、 実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	延利用日数/月	486	510	535	589	610	632
	実利用人数/年	29	30	31	31	32	33
実績	延利用日数/月	561	557	620			
	実利用人数/年	29	28	34			
達成率	延利用日数/月	115%	109%	116%	0%	0%	0%
	実利用人数/年	100%	93%	110%	0%	0%	0%

一般就労で働きにくくなった人が、雇用関係を結び最低賃金が保障される就労継続支援事業A型での就労を希望されるニーズは年々高くなっている。令和2年度は、コロナ禍の影響を受けて、一般就労を解雇され、就労継続支援A型から再スタートされる方も多くおられた。

今後は、就労継続支援A型から一般就労へとつなげていけるような支援体制の構築が望まれている。

※圏域の就労A事業所…ウェルメント水口、エルディ、春の日、陽だまりサテライト、関西福祉学園(R3. 10～)

<就労継続支援事業B型>

平均延利用日数/月、 実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	延利用日数/月	1,850	1,942	2,000	1,943	1,986	2,029
	実利用人数/年	111	118	121	135	138	141
実績	延利用日数/月	1,740	1,990	1,982			
	実利用人数/年	103	122	99			
達成率	延利用日数/月	94%	102%	99%	0%	0%	0%
	実利用人数/年	93%	103%	82%	0%	0%	0%

事業所が就労継続支援B型や生活介護の立ち上げや定員のシフトを行い、さらに複数の事業所が定員を超えて(125%まで)の受け入れを行っていただいた。

近年、就労継続支援B型の利用者は増える一方であり、特別支援学校新卒者の進路保障が課題となっている。

※圏域の就労継続B型事業所…バンバン、いしべ、しあわせ、虹、さつき、サニーサイド、さわらび、甲賀福祉、土山福祉、やまなみ、ゆとりあ、信楽くるみ、ワークセンター紫香楽、アイ・コラ、エルディ、ワークショップ水口、けいかん、コッカラ、ここねっとふれあい農園

支援・サービスの実績

資料No3

<就労移行支援> 平均延利用日数/月、実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	延利用日数/月	110	115	120	142	170	213
	実利用人数/年	14	15	15	15	17	19
実績	延利用日数/月	46	119	99			
	実利用人数/年	3	7	10			
達成率	延利用日数/月	42%	103%	83%	0%	0%	0%
	実利用人数/年	21%	47%	67%	0%	0%	0%

甲賀圏域においては平成26年度と平成29年度に、多機能型事業所の中で就労移行支援事業が相次いで廃止され、現在は、信楽にある事業所2か所のみで実施している。

特別支援学校卒業後の就労継続支援B型の利用には就労移行支援事業所によるアセスメントが必要であり、時期が集中して利用される場合があるので、就労移行支援事業の定員確保を計画的に行う必要がある。高2の段階から取り組む方向性で検討していただいていたが、コロナ禍の影響で高3生中心のアセスメントになっている。

※圏域の就労移行支援事業所…ワークセンター紫香楽、信楽くるみ、春の日、関西福祉学園

<就労定着支援>

実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	実利用人数/年	2	2	2	4	5	6
実績	実利用人数/年	2	2	5			
達成率	実利用人数/年	100%	100%	250%	0%	0%	0%

平成30年度から始まったサービス。平成30年8月時点でサービス提供事業所、サービス利用者ともにまだなかった。令和2年度も新規参入はない。今後の検討事項ではある。

<自立訓練(機能訓練)>

平均延利用日数/月、実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	延利用日数/月	27	27	27	35	44	53
	実利用人数/年	2	2	2	4	5	6
実績	延利用日数/月	37	64	23			
	実利用人数/年	2	3	3			
達成率	延利用日数/月	137%	237%	85%	0%	0%	0%
	実利用人数/年	100%	150%	150%	0%	0%	0%

地域生活を営む上で、生活能力の維持・向上などの支援が必要なものに対して行う訓練や、生活等に関する相談及び助言などを行う標準利用期間が設定されているサービス。中途障がいになられた方が、在宅での生活が続けられるように利用される方も多くなってきている。

※機能訓練の事業所…むれやま荘

支援・サービスの実績

資料No3

＜自立訓練(生活訓練)＞

平均延利用日数/月、実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	延利用日数/月	130	130	130	119	119	119
	実利用人数/年	21	21	21	20	20	20
実績	延利用日数/月	86	117	84			
	実利用人数/年	13	11	12			
達成率	延利用日数/月	66%	90%	65%	0%	0%	0%
	実利用人数/年	62%	52%	57%	0%	0%	0%

標準利用期間を2年間と設定するが、1年間の延長が必要な方も多い。生活訓練の利用期間内に、どのような支援をしていただき、就労や自立生活への移行が進められるかが課題となってきている。

※圏域の生活訓練事業所…しろやまコミュニティハウス、スポットライフいろは

＜短期入所＞

平均延利用日数/月、（実利用人数/年）

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	延利用日数/月	150	167	175	176	179	183
	実利用人数/年	48	49	50	53	54	55
実績	延利用日数/月	159	176	92			
	実利用人数/年	31	33	40			
達成率	延利用日数/月	106%	105%	53%	0%	0%	0%
	実利用人数/年	65%	67%	80%	0%	0%	0%

令和2年度、コロナ禍の影響を一番受けたサービスである。感染予防対策として利用を停止された事業所が多かった。通常は、ほぼ半数の人が安心決定での支給決定である。介護者の入院などに伴って緊急に利用するケースもあり、年間の利用日数は年度ごとに上下している。ニーズは高く、希望した際に利用できないこともあり、供給量不足であることは否めない。

※圏域の短期入所事業所…るりこう、信楽学園、もみじ、あざみ、落穂寮、一麦、近江学園、信楽青年寮、紫香楽病院、十二坊ショートステイ

支援・サービスの実績

資料No3

<自立生活援助>

実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	実利用人数/年	1	2	2	2	2	2
実績	実利用人数/年	0	0	0			
達成率	実利用人数/年				0%	0%	0%

平成30年度から始まったサービス。令和3年9月時点でも、サービス提供事業所、サービス利用者ともにまだない。

※圏域の共同生活援助（GH）事業所数…33か所

<共同生活援助（グループホーム）>

実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	実利用人数/年	45	46	47	48	50	52
実績	実利用人数/年	45	44	51			
達成率	実利用人数/年	100%	96%	109%	0%	0%	0%

地域生活移行の拠点としてのニーズが高まっているサービスである。市内に、令和元年度に2か所、令和2年度に1か所が新設された。圏域では、令和3年度に甲賀市で開設した2事業所を含めると、合計35か所になっている。

ニーズはあるものの、体験入所を行われるが実際の入所に至らない場合も多い。今後は地域生活移行に向けて重度障がいのある人なども含め対応できるような体制整備をすすめていく必要がある。

※圏域の共同生活援助（GH）事業所数…33か所

<施設入所支援>

実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	実利用人数/年	34	34	34	39	40	41
実績	実利用人数/年	38	36	39			
達成率	実利用人数/年	112%	106%	115%	0%	0%	0%

施設入所者を希望される理由としては、「児童福祉施設の入所者で18歳に達した時に本人の障がい特性や家庭基盤の脆弱さから引き続き入所の必要な人」また、「介護者の高齢化などにより在宅での生活が難しくなり施設入所を希望される人」などが、多い。

施設入所にあたっては、利用者と施設のマッチングの問題などから甲賀福祉圏域内の施設等への入所が困難なケースもあり、圏域外の施設に入所される現状がある。家族との関係を途絶えさせることなく、入所をかなえることも重要である。地域資源のひとつとしての施設の役割は大きいと思われる。

支援・サービスの実績

資料No3

＜サービス等利用計画(計画相談支援)＞ 実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	実利用人数/年	399	428	457	347	356	365
実績	実利用人数/年	352	343	342			
達成率	実利用人数/年	88%	80%	75%	0%	0%	0%

児童除く

※圏域の特定相談支援事業所…14か所

サポートセンター、このゆび、しろやま、ろーぶ、うろむろ、落穂寮、つくしんぼ、湖南市社会福祉協議会、大木会、あぼし、やまなみ、甲賀市社会福祉協議会、こけこっこ、あゆあん、はれるや

H24から障がい福祉サービスを利用する場合にはサービス等利用計画の作成が必須となり、H26年度2事業所、平成27年度2事業所、平成28年度1事業所、平成29年度2事業所の新規事業所が開所された。

委託の一般相談と、特定相談支援の役割を整理する必要がある。委託相談事業所からのケース移管の必要があり、基幹相談支援センター(H27.10～)が支援を行っている。

近年増えてきているセルフプランに対応するためにも、特定相談支援の単独事業所の参入、開所を進めていくことが課題となっている。

＜地域相談支援(地域移行支援・地域定着支援)＞ (地域移行支援)

実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	実利用人数/年	1	1	1	1	1	1
実績	実利用人数/年	0	0	0			
達成率	実利用人数/年	0%	0%	0%	0%	0%	0%

国が進める地域生活に移行するための重点的な支援であるが、これまでの支援は、1、2人に留まっている。令和2年度においては、長期入院からの地域生活へ1名、刑事施設から地域へ1名、生活の場をもどされた方があったが、サービスとして算定できる支援体制ではなかったため、実績には計上されない。委託一般相談として対応していただいている現状がある。

サービス体制としての整備に難しさがある。

(地域定着支援)

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	実利用人数/年	1	1	1	1	1	1
実績	実利用人数/年	2	1	0			
達成率	実利用人数/年	200%	100%	0%	0%	0%	0%

※圏域の特定相談支援事業所…14か所

サポートセンター、このゆび、しろやま、あかつき、うろむろ、落穂寮、つくしんぼ、湖南市社会福祉協議会、大木会、あぼし、やまなみ、甲賀市社会福祉協議会、こけこっこ、あゆあん

支援・サービスの実績

資料No3

＜児童発達支援＞ 平均延利用日数/月、実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	延利用日数/月	110	110	110	142	148	153
	実利用人数/年	50	52	55	53	55	57
実績	延利用日数/月	111	141	151			
	実利用人数/年	39	43	71			
達成率	延利用日数/月	101%	128%	137%	0%	0%	0%
	実利用人数/年	78%	83%	129%	0%	0%	0%

発達支援センター就学前サービス調整会議において発達相談後の支援について検討しており、子どもの発達、園での状況、保護者の発達についての理解度、さらにサービス利用の時期などを総合的に判断している。その結果、児童発達支援の利用についても必要な児童が必要な時期に利用することとなりつつある。

※児童発達支援事業所…市が実施主体の「ぞうさん教室」

＜医療型児童発達支援＞ 平均延利用日数/月、実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	延利用日数/月	9	9	9	9	9	9
	実利用人数/年	2	2	2	2	2	2
実績	延利用日数/月	0	0	0			
	実利用人数/年	0	0	0			
達成率	延利用日数/月	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	実利用人数/年	0%	0%	0%	0%	0%	0%

肢体不自由があり、理学療法等の機能訓練又は、医療的管理の下で支援が必要と認められた障がい児に対して、提供する支援である。今のところ、利用実績はない。対象となると思われる児童については、医療の必要性がかなり高く、圏域外の病院での療育や、重症児に対応した放課後等デイサービスを利用されている。

※児童発達支援事業所…市が実施主体の「ぞうさん教室」

支援・サービスの実績

資料No3

<放課後等デイサービス>

平均延利用日数/月、（実利用人数/年）

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	延利用日数/月	504	544	587	560	609	665
	実利用人数/年	69	76	84	80	87	95
実績	延利用日数/月	507	556	528			
	実利用人数/年	62	69	75			
達成率	延利用日数/月	101%	102%	90%	0%	0%	0%
	実利用人数/年	90%	91%	89%	0%	0%	0%

H24.4に新たに創設された事業で、日中一時支援よりも療育的なサービスが受けられること、送迎サービスが受けられることから、利用ニーズは大きく、利用者数・利用日数ともに毎年大きく増加している。

療育目的のサービスであるが、保護者からみると預け先として就労保障のサービスとしての側面からのニーズがあることも否めず、利用にあたっての説明が必要である。

※市内の放課後等デイサービス事業所…さぼてん、キッズステーション 圏域外事業所の利用あり。

※学校就学中の児童に対し、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供。

<保育所等訪問支援>

平均延利用日数/月、 実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	延利用日数/月	55	55	55	61	64	67
	実利用人数/年	60	60	60	59	62	65
実績	延利用日数/月	56	62	74			
	実利用人数/年	34	46	62			
達成率	延利用日数/月	102%	113%	135%	0%	0%	0%
	実利用人数/年				0%	0%	0%

※児童発達支援事業所…市が実施主体の「ぞうさん教室」

<居宅訪問型児童発達支援>

平均延利用日数/月、 実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	延利用日数/月	0	0	1	1	1	1
	実利用人数/年	0	0	1	1	1	1
実績	延利用日数/月	0	0	0			
	実利用人数/年	0	0	0			
達成率	延利用日数/月	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	実利用人数/年	0%	0%	0%	0%	0%	0%

支援・サービスの実績

資料No3

<障がい児相談支援(計画相談支援)> 実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	実利用人数/年	127	136	146	136	149	166
実績	実利用人数/年	139	155	166			
達成率	実利用人数/年	109%	114%	114%	0%	0%	0%

平成24年から児童福祉法に基づくサービスを利用する場合にはサービス等利用計画の作成が必須となった。

利用希望者は増加しているため、児童を対象とする相談支援事業所が不足している状況で、計画相談支援事業所の確保、また計画作成を担う相談支援専門員の育成が喫緊の課題となっている

※圏域の障がい児相談支援事業所…5か所
市児童相談、サポートセンター、落穂寮、大木会、あぼし

<医療的ケア児に対するコーディネーターの配置> 実利用人数/年

	単位	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
見込量	実利用人数/年	-	1	1	1	1	1
実績	実利用人数/年	0	0	1			
達成率	実利用人数/年	0%	0%	100%	0%	0%	0%

平成30年度から創設されたサービスである。令和2年度に研修を修了された方が、圏域で1名コーディネーターとして配置されたばかりです。